

午前・午後を通して開かれた。特に前者は、今日直面する都市問題に対して、従来の都市社会学の問題視角への反省と総括の意図をもって、周到に企画されたにもかかわらず、その根底にもつ社会学の方法論の欠如が再度確認された感をもっておわった。むしろ緻密な実証的共同研究の報告のなかにえるものが少なくなかった。

その他人口に直接関係する発表としては、「死亡秩序の近代化とその社会的文化的要因、とくに主要国における平均寿命と死亡率性比の変動について」(佐賀大学・山本文夫)、「アチーブメント・モチベーションの社会学的研究」(東京教育大学・安田三郎他)などがあげられる。(若林敬子記)

## 1970年度 日本地理学会・人文地理学会合同大会

昭和45年10月10・11日両日(12・13日は4班に分かれてエクスカージョン)にわたり、1970年度日本地理学会・人文地理学会合同大会が、奈良女子大学において開催された。本研究所からは、伊藤達也、高橋真一の両技官が出席した。

研究発表は、一般研究発表、シンポジウムおよび日本地理学会各研究委員会の3部門に分かれて行なわれた。一般研究発表は、自然・人文にわたって47題の報告があったが、そのうち人口に直接関係のある研究発表は伊藤達也技官の「広島県の人口移動に関する研究」であった。

シンポジウムにおいては、「歴史時代における中心集落」、「土地分類」、「行政区域の再編成と地理学的地域」の3題について、発表と討論が行なわれた。とくに、「行政区域の再編成と地理学的地域」では、道州制の問題が論点となり、その是非、地理学的立場からのそれへのアプローチ等の議論が出て、今後の地理学のあり方を再考させるうえで有意義であった。

また、研究委員会は「都市地理研究委員会」、「農業地理学研究委員会」、「計量地理学研究委員会」、「水文学研究委員会」、「地理学と教育に関する研究委員会」の5委員会で発表と討論が行なわれ、人口関係では「都市地理研究委員会」において、二神弘氏(富山大学)の「地方都市における人口の環流現象」と題する発表があった。(高橋真一記)

## 日本栄養改善学会第17回総会

日本栄養改善学会第17回総会は、昭和45年10月21日・22日の2日間山形市において行なわれた(第1日目は総会、第2日目は分科会および職域集会)。一般報告は191題に上り、本研究所から内野澄子技官が出席し、「主食選択行動の地域性と移動経験」について報告を行なった。(内野澄子記)

## 第24回日本人類学会日本民族学会連合大会

昭和45年11月6、7の両日、福岡県久留米市民会館において、第24回日本人類学会日本民族学会連合大会(大会委員長 竹重順夫)が開催された。